

デバイスシミュレーション技術の 活用と将来展望

Semiconductor Device Simulation: Applications and Future Perspectives

半導体内部の電気伝導に関する基本方程式の解を数値計算で求める半導体デバイスシミュレーション技術は様々なデバイスの動作解析や教育に活用されています。本シンポジウムでは、デバイスシミュレーション技術の活用やモデリング・数値計算技術などに関する研究成果を紹介し、将来展望について議論します。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2018年3月18日
午後1時15分～6時40分(予定)
場所：早稲田大学・西早稲田キャンパス

招待講演（敬称略、五十音順）

内田 建（慶應大学）
鎌倉 良成（大阪大学）
佐野 伸行（筑波大学）
服部 淳一（産総研）
松澤 一也（慶應大学）
森 伸也（大阪大学）

一般講演を募集します。

世話人：青木 伸俊（東芝メモリ）、平本 俊郎（東京大学）、
森 伸也（大阪大学）、園田 賢一郎（ルネサスエレクトロニクス）、
安斎 久浩（ソニーセミコンダクタソリューションズ）

問い合わせ先：nobutoshi.aoki@toshiba.co.jp